



OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 工藤大輔

方針「Merry Rotary!」-ロータリーで盛り上がりよう!

No.3507

第3825回例会
令和6年4月24日

2023-24年度国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう

■会長報告

工藤 大輔 会長



みなさん、こんにちは。4月のロータリーの特別月間、「環境月間」については第1例会でお話しましたが、今から14年前に帯広RCが行った事業についてご紹介したいと思います。

帯広ロータリー・クラブ細則	
第9条 委員会	社会奉仕委員会
第4節	(c) 会長は理事会の承認の下に社会奉仕の中の特定分野を担当する次の委員会を設置するものとする 地域環境委員会 (地域発展・環境保全) 新世代委員会 (新世代・ローターアクト)
第10条 委員会の責務	社会奉仕委員会
第3節	(a) 地域環境委員会 この委員会は、地域と諸施設の現状を改善することと地域環境の質を調査、改善することによって住みやすい場所を築くよう心を配るものとする

2009-10年度、当時社会奉仕部門は特定分野を担当する委員会として地域環境委員会があり、小田会員が担当理事で、私が委員長を務めさせておりました。帯広ロータリー・クラブ細則には、「この委員会は地域環境の質を調査、改善することによって住みやすい場所を築くよう心を配るものとする。」とありました。

自然体験教育プログラム

開催日時	2010年4月17日(土) 9:00~
開催場所	音更町音幌(音和の森)
対象者	一般小学生(+引率者) 40名参加
目的	社会奉仕活動のために他団体と共同し、また帯広RACと合同で事業を実施し、青少年に向けて地球環境への理解を促進する
内容	NPOトカプチの森と共同して、シラカバ樹液採取などこの時期にしかできない自然体験プログラムを行う



森林との共生・自然環境の保全を目的に活動する「NPOトカプチの森」のフィールドである音更町「音和の森」で共同開催、帯広RACとの合同で2010年4月17日に開催しました。

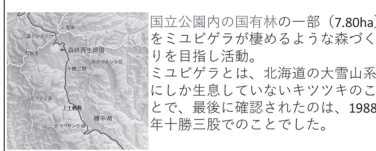
「NPOトカプチの森」は当時、川田工業の先代川田淳さんが理事長を務め、音更のこの場所と池田の森を維持管理しながら、自然体験・教育を行っており、現在は川田章博社長が理事長を務めています。当時の活動は、炭窯を作って間伐材で炭を作ったり、「シラカバ樹液」を採取したり、森林探検・散歩、開拓の歴史を知る体験や紅葉をめぐったり、囲炉裏を楽しんだり、スキー大会を開催したりしています。



さてこの事業は当日約40名にご参加いただき、その模様は北海道新聞と十勝毎日新聞にも掲載されましたが、記事の中に「父親と参加した帯広栄小学校6年の工藤憲一郎君(私の息子ですが)は(シラカバから樹液が出てきて)すごいなあ。今日の夜はパーティーをするので、みんなで少しずつ飲みたいと話していた」と書かれていてびっくり…全く覚えていませんでしたが、その日の夜我が家はパーティーだったようです。

さて、今から21年前「大雪山に木を植えて海の魚をおいしくし

「大雪山に木を植えて海の魚をおいしくしよう」



2003年8月開催：NPOあうるず

よう」というイベントを、私と吉田会員が所属する「NPOあうるず」が開催しました。大雪山の一滴の水から始まる流れは川となり海につながっています。ということはその流域で生活する皆さんの、水への思いもつながっているはずだということで、大津の海から大雪山のふもとに住んでいる人々が途中から次々と十勝バスに同乗し、十勝三股に木を植える目的で集まり、交流しました。

「十勝三股森づくり21」の活動



植樹の場所は大雪山国立公園内、「十勝三股森づくり21」という会が活動している「ミュビゲラの森」というところで、そこは木の生育しない土場跡や森林を切り裂いたブル道がたくさんありますが、このような荒地から森林を復元するため、植樹する場所にシカ避け柵を回し、生態系を守るため回りの木から落ちて芽の出た苗木を移植し、そこにさらに柵を回すなど、気の遠くなるような作業でした。このような活動を地道に行なっている人たちがいることを実感したのを思い出し、紹介させていただきました。

日高山脈襟裳国定公園 (1981年10月1日指定) 2024年夏 国立公園に指定 (予定)



「日高山脈襟裳十勝国立公園」に名称変更?

国立公園といえば、「日高山脈襟裳国定公園」が今年、国立公園に指定されるそうですが、その名称に「十勝」を加えるかで議論になっているようです。十勝の人間としては名称に入るの嬉しいですが、このエリアが持つ地形学的な希少性や生物多様性を守るために関係者や地域が一体となって保全することを議論するべきではないかと思います。

私たちは少しでもこの自然環境の重要性を知っておく必要があると思い、お話しさせていただきました。

最後に、自然体験プログラム開催に際して会員の皆様に欠けをとったところ、田中バスタガバナーからの返信に「工藤委員長殿 本企画は大変結構なことと存じます。ロータリークラブ活動に変化を与え刺激になります。」とのメッセージをいただきました。この返信が奇跡的に残っていましたが、よほどうれしくて取っておいたのだと思います。



エゾナキウサギ ショウドウツバメ営巣地

以上、会長報告とさせていただきます。本日もよろしくお願いたします。

■プログラム

(中長期ビジョン委員会)

「中長期ビジョン委員会からの提案」

長澤 秀行 委員長



帯広ロータリークラブは、1935年(昭和10年)に日本で16番目に発足した、今年89年目を迎える「歴史と伝統のあるクラブ」です。竹川博之会長長年度に、100周年に向けて計画的にクラブ活動の総点検(グレート・リセット)を行うことを目的に、特別委員会として本委員会が設置されました。そして、工藤大輔会長長年度においても、当委員会が継続されました。

ロータリークラブは世界最大のボランティア団体ですが、ロータリー活動の基本は、「職業奉仕を通じて会員同士が親睦を図ること」です。まさに、今年度のスローガンである「Merry Rotary」です。

鶴見誠一郎2500地区ガバナーのスローガンは「今こそ、変わる勇気を！」です。ロータリー活動を継続・維持するためには、変化することが大切です。

社会の変化に対応して事業内容を変化させることは、老舗の要件でもあります。従って、帯広ロータリークラブも、歴史と伝統を理解し、ロータリー活動の理念に沿って、「何を守り、何を变えるか。何のために守り、何のために変えるのか。」を整理する必要があります。

ちなみに、毎年、新入生を受け入れる大学は、新世代、いわゆるZ世代への対応が必要となります。現在29歳から14歳のZ世代はスマホ世代やデジタルネイティブなどと呼ばれるように、インターネットが普及してから生まれ、SNSなどを活用する世代です。ロータリークラブへの入会にはまだ早いかもしれませんが、会員増強は大きなテーマですので、若い世代の新入会員受け入れに際しては、帯広ロータリークラブの伝統を守りつつ、変わる勇気も必要です。

工藤大輔会長長年度の本委員会は、合田倫佳担当理事のもとに、小白智志副委員長、外崎裕康副委員長のほか、村松一樹会長エレクト、各委員会の委員長をメンバーとして構成されています。構成メンバーに各委員長を加えた理由は、中長期ビジョン委員会の議論を各委員会の委員長に共有してもらいたいというのが、工藤大輔会長の意向でした。

本日は、4月10日に開催した、中長期ビジョン委員会で話し合われた内容を紹介します。2年間、委員会で取り上げたテーマは多岐にわたりました。クラブ強靱化や人材育成については、さらに中長期的な議論が必要です。今回は、以下の項目について中長期ビジョン委員会から提案したいと思います。

(1) 会員増強

「Each One, Bring One」を実践し、広く新入会員を求めることが重要です。その際、推薦者は1名を原則とします。ただし、推薦者は入会者に、帯広クラブのルール(出席義務、会費納入、雑誌購読など)を伝え、実践してもらうことが大切です。入会后、クラブの輪に入れて、クラブの活動を理解してもらうように努めることが、推薦者の責任となります。

(2) 例会

例会に参加することがロータリー活動の原点です。例会は、奉仕の理念を探求するために会員同士が切磋琢磨する自己研鑽と、会員の親睦を図る場です。決して、昼食を楽しむ場ではありません。例会開始前と食事中は、会員同士でコミュニケーションを図る時間です。

例会開始1分前から会話を慎みましょう。

会長報告、卓話等では私語を慎みましょう。

(3) 会場監督(Sergeant at Arms:SAA)

例会場の秩序を保つためのあらゆる権限を持つ役職です。審議機関に属さないため理事会に出席する義務はありませんが、必要があれば、理事会で意見を言うことができます。

具体的な職務内容:例会の司会進行。例会場の入場、退場許可。例会場の開門、閉門。早退、遅刻の承認や拒否。私語に対する警告。卓話の時間管理励行。そのほか、例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令。例会場の設営、テーブルの配置、座席の指定。食事の献立、食事の手配。

(4) 服装

以前は、スーツ、白シャツ、ネクタイ着用のルールもありましたが、例会出席を優先しますので、仕事着であってもOKです。ただし、ロータリーバッジの着用は義務とします。

(5) 委員会活動

各委員会活動の継続性を図ることが重要です。3年任期で委員を任命することも一案ですが、次年度委員会へ役割の説明や課題の申し送りを行いましょう。

次年度も、合田倫佳担当理事、和田賢二委員長の下で、中長期ビジョン委員会が継続されます。会員皆様のご理解とご協力により、「歴史と伝統のある」帯広ロータリークラブで、自己研鑽と会員相互の親睦を深めていきましょう。

■会務報告

猿川 陽介 幹事

①帯広北・帯広東・音更、3RC合同例会開催のご案内(十勝ロータリー奨学会支給式)

日時 4月24日(水)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※帯広東RC、4月23日(火)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、4月26日(金)の繰上げ例会と致します。

②帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 4月25日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

③帯広南RC、4月29日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広東RC、4月30日(火)の例会は、休会と致します。

帯広RC、5月1日(水)の例会は、休会と致します。

帯広西RC、5月2日(木)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、5月3日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広南RC、5月6日(月)の例会は、祝日振替休日のため休会と致します。

【委員会報告】

【ニコニコ献金】

(親睦活動委員)

<大橋 朋史 会員> 2024年度 生命保険協会 会長を務めさせていただきます。社会奉仕活動などを通じ「地域の未来と一緒に作る」取組を進めていきますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

<合田 倫佳 会員> 本日の担当例会、よろしくお祈りします。

<長澤 秀行 会員> 本日、卓話を担当させていただきます。

・出席表彰記念

出席表彰記念(31回目) 和田 賢二 会員

出席表彰記念(25回目) 小田 剛 会員

出席表彰記念(21回目) 合田 倫佳 会員

出席表彰記念(19回目) 小白 智志 会員

出席表彰記念(13回目) 小水 基弘 会員

出席表彰記念(8回目) 小倉 豊 会員

出席表彰記念(8回目) 伊藤 秀敏 会員

出席表彰記念(7回目) 長澤 秀行 会員



■出席報告

会員総数:86名(内 免除会員1名)

出席者数:54名(内 免除会員0名 内zoom参加者1名)

本日の出席率:63.5%

■次週プログラム予定

5月1日(水)「休 会」

5月8日(水)「身近にある国際奉仕」 (国際奉仕委員会)

JICA北海道センター(帯広) チャム祐子 様



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 花岡寿美代 副委員長 / 渡辺喜代美・荒井 純一

委員 / 石神 美代・櫻井 博一・千葉 直樹・三谷 郁央

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

